

笑顔いっぱい!

たかまつファミサポのあたたかいつながりの様子をお届けします!

TAKAMATSU
ファミサポ通信

第28号

2020.5月発行

援助を依頼している人
おねがい会員 大澤 未英さん

直央ちゃん(4歳9ヶ月)



娘が8ヶ月の頃からお世話になっています。主にリフレッシュしたい時や仕事の時にお願いすることが多かったのですが、今では本人が「山口さんち行きたい!」「山口さんちで食べたいからお弁当作って!」と言い出すことも。幼稚園が長期の休みの際には定期的にお邪魔しました。お姉ちゃんにもすっかりなついて、第2の自宅のようになっています。

援助をしている人
まかせて会員 山口 千穂さん

ご自身も3人のお子さんのお母さんで、子育てで私が行き詰っている時などベテランならではの大きな視点でアドバイスを下さり、ふっと肩の力が抜けることも多々あります。本当にこのご縁に感謝です。これからも一緒に成長を見守って頂きたいと思っております。

最初は不安そうに泣いていた直央ちゃんも、今ではすっかり我が家に慣れて、たくさんの笑顔を見せてくれます。お母さんに持たせてもらったお弁当を食べる時は、特に楽しい時間。おかずを一つパクツとして、「ふふふ」って笑って、またパクリ。笑顔がキュートで本当に可愛いです。お母さんは預け先をいくつか考える時、私を頼りにしてくださっているようで嬉しいです。親戚のおばちゃんみたいに、これからも見守ってまいります。

まかせて会員さんにインタビュー

お話ししてくださったのは...



まかせて会員
山口 千穂さん

【活動歴】
活動を始めて4年9ヶ月。
13組の援助を経験。
いつもおらからで自然体。
あたたかいまなざしで、楽しく援助活動してくださっています。



活動をしてみて感じたことを教えてください。



大事な我が子を気軽に預けるお母さんはいません。マッチングという顔合わせの時も緊張した顔で、やっとここまで来た!といった表情です。だからこそ援助の依頼があると、お母さんが本当に困っている時に私を思い出してくれたんだなと「頼りにされている」ことを実感して嬉しく思います。

中学生の娘は援助をとっても楽しみにしていて、一緒に折り紙したり、お絵かきしたりしています。おうちの人がお迎えに来ると「え〜、もうちょっと遊びたかった〜」とか言うのを聞くと、気持ちよくうちで過ごしてたんだなあと思えます。お預かりするお子さんは、みんなかわいいですね。



子育て支援に携わりたいな〜と思っている方へメッセージをください。



ある地方では「子どもがひとり育つのに、10人の親がいる」というそうです。

私の実家の母も「子どもはみんなで育てるもんなんやで」と言っていました。

お預かりの、ほんの1~2時間でも一緒に遊んだり、抱っこしたりおむつ替えをしたりしていると、私も10人の親のうちのひとりになれたかしら?と思います。

ぜひ皆さんも10人の親のうちのひとりになってください。



まかせて会員さんになった経緯は?



夫が転勤族で、今まで何回かお引越しをしましたが、その度にいろんな方に子育てを助けてもらってきました。末っ子の娘が段々と大きくなって、そろそろ恩返ししたいなあと思い始めたところご縁があって養成講座を受講し、活動を始めました。



Sweet

Sweet